



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月7日

上場会社名 林兼産業株式会社 上場取引所 東
コード番号 2286 URL <https://www.hayashikane.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中部 哲二
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部総務部長 (氏名) 熊澤 英俊 (TEL) 083-266-0210
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	10,439	△4.8	△214	—	△98	—	△54	—
2026年3月期第1四半期	10,964	△3.8	391	—	526	—	364	—

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 △39百万円(—%) 2026年3月期第1四半期 282百万円(68.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	△6.62	—
2026年3月期第1四半期	43.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	30,649	13,178	43.0
2026年3月期	28,236	13,568	48.1

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 13,178百万円 2026年3月期 13,568百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	—	—	43.00	43.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	—	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通 期	48,500	6.4	1,000	△24.1	1,200	△28.3	1,200	△5.9
								146.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	8,910,000株	2026年3月期	8,910,000株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	743,769株	2026年3月期	743,759株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	8,166,236株	2026年3月期1Q	8,448,404株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の背景等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	P. 2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	P. 9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果などにより、景気は緩やかな回復が続いております。しかしながら、食品業界におきましては、賃上げを背景に個人消費には改善が見られるものの、不安定な中東情勢や円安による原材料価格やエネルギーコストの高止まりなど、依然として先行き不透明な経営環境が続きました。

このような状況のなか、当社グループでは2026年4月からの「中期経営計画Challenge2028」（2027年3月期～2028年3月期）を策定いたしました。これまでの財務健全化を経て、資本コストをより強く意識した経営へシフトし、事業ポートフォリオの「選択と集中」を通じて、「株主還元の強化」「収益性（ROIC）向上」「人的資本投資強化」の3つの重点戦略を推進し、中長期的な企業価値向上につなげてまいります。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、収益性重視による加工食品や食肉の販売数量の減少や、ブリ稚魚用飼料および海外向け飼料の販売数量減少などにより104億39百万円（前年同期比4.8%減少）となりました。損益面におきましては、配合飼料の原材料価格高騰による利益率の悪化等により、営業損失は2億14百万円（前年同期は3億91百万円の営業利益）、経常損失は98百万円（前年同期は5億26百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は54百万円（前年同期は3億64百万円の四半期純利益）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

①食品事業

食品事業におきましては、収益性重視による加工食品や食肉の販売数量の減少などにより、減収となりました。

これらにより、売上高は50億24百万円（前年同期比5.7%減少）となりました。損益面におきましては、「霧島黒豚」の農場肥育成績が堅調に推移したことにより、セグメント利益（営業利益）は1億41百万円（前年同期比36.6%増加）となりました。

②飼料事業

飼料事業におきましては、ブリ稚魚用飼料および海外向け飼料の販売数量減少などにより、減収となりました。

これらにより、売上高は54億13百万円（前年同期比4.0%減少）となりました。損益面におきましては、配合飼料の原材料価格高騰による利益率の悪化等により、セグメント損失（営業損失）は81百万円（前年同期は5億61百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は306億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ24億12百万円増加しました。流動資産の増加（前連結会計年度末比24億25百万円増加）は、主に受取手形及び売掛金が13億30百万円、原材料及び貯蔵品が9億72百万円増加したことなどによるものであり、固定資産の減少（前連結会計年度末比12百万円減少）は、主に有形固定資産が1億円減少したことなどによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は174億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ28億3百万円増加しました。流動負債の増加（前連結会計年度末比23億66百万円増加）は、主に短期借入金が増加したことなどによるものであり、固定負債の増加（前連結会計年度末比4億36百万円増加）は、主に長期借入金が増加したことなどによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は131億78百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億90百万円減少しました。これは配当金の支払いによる利益剰余金の減少が3億51百万円あったことなどによるものです。この結果、自己資本比率は43.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

国際情勢を背景とした原材料価格やエネルギーコストの高騰、為替相場リスクなど、当社グループを取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続くと考えられます。

こうしたなか、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、原材料価格高騰による利益率の悪化等により四半期純損失を計上したものの、コスト高の影響は業績予想に織り込み済みであり、価格改定等の取り組みも当初計画に沿って進めております。今後も価格改定や収益性重視の製品アイテム集約などにより利益率の改善を見込んでいることから、2026年5月15日に発表した通期の業績予想に修正はありません。

今後、経営環境等の変化により業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,961	1,663
受取手形及び売掛金	5,588	6,919
商品及び製品	1,970	2,246
仕掛品	2,234	2,176
原材料及び貯蔵品	2,479	3,452
その他	647	850
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	14,880	17,306
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,514	2,483
土地	1,800	1,800
その他(純額)	2,646	2,577
有形固定資産合計	6,961	6,860
無形固定資産	534	550
投資その他の資産		
投資有価証券	5,362	5,406
その他	1,484	1,511
貸倒引当金	△986	△985
投資その他の資産合計	5,860	5,931
固定資産合計	13,355	13,343
資産合計	28,236	30,649
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,547	3,362
短期借入金	4,774	6,871
未払法人税等	137	41
賞与引当金	182	136
その他	2,191	1,788
流動負債合計	9,832	12,199
固定負債		
長期借入金	1,457	2,036
退職給付に係る負債	1,669	1,644
その他	1,707	1,590
固定負債合計	4,835	5,271
負債合計	14,668	17,471

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,415	3,415
資本剰余金	3	3
利益剰余金	8,316	7,911
自己株式	△449	△449
株主資本合計	11,284	10,879
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,117	2,143
繰延ヘッジ損益	5	2
退職給付に係る調整累計額	160	152
その他の包括利益累計額合計	2,283	2,298
純資産合計	13,568	13,178
負債純資産合計	28,236	30,649

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	10,964	10,439
売上原価	9,454	9,514
売上総利益	1,510	925
販売費及び一般管理費	1,118	1,139
営業利益又は営業損失(△)	391	△214
営業外収益		
受取配当金	71	89
その他	93	65
営業外収益合計	165	154
営業外費用		
支払利息	24	27
その他	6	10
営業外費用合計	30	38
経常利益又は経常損失(△)	526	△98
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	526	△99
法人税、住民税及び事業税	115	22
法人税等調整額	46	△67
法人税等合計	162	△45
四半期純利益又は四半期純損失(△)	364	△54
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	364	△54

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	364	△54
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△81	28
繰延ヘッジ損益	1	△2
退職給付に係る調整額	0	△8
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	△2
その他の包括利益合計	△81	14
四半期包括利益	282	△39
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	282	△39

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	食品事業	飼料事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,326	5,636	10,962	1	10,964
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	383	383	—	383
計	5,326	6,019	11,346	1	11,347
セグメント利益又は損失(△)	103	561	665	△0	664

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない不動産事業です。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	665
「その他」の区分の利益	△0
セグメント間取引消去	13
全社費用(注)	△ 286
四半期連結損益計算書の営業利益	391

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	食品事業	飼料事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,024	5,413	10,438	1	10,439
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	423	423	—	423
計	5,025	5,837	10,862	1	10,863
セグメント利益又は損失(△)	141	△81	59	0	60

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない不動産事業です。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	59
「その他」の区分の利益	0
セグメント間取引消去	△2
全社費用(注)	△272
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△214

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	216百万円	202百万円
のれんの償却額	6百万円	6百万円